

CASBEE[®]-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)サーバス沼津本町	階数	地上6F
建設地	静岡県沼津市	構造	RC造
用途地域	準工業地域、防火指定なし	平均居住人員	164 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2019年11月 予定	評価の実施日	2018年7月26日
敷地面積	1,883 m ²	作成者	水谷祥隆
建築面積	765 m ²	確認日	
延床面積	3,342 m ²	確認者	



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.1 ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値: 100%
②建築物の取組み: 67%
③上記+②以外の: 67%
④上記+: 67%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質

Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.3

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.0

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 2.1

LR 環境負荷低減性

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 4.2

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 2.5

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 2.9

3 設計上の配慮事項		
総合 これはCASBEE静岡2016年版による評価結果です。		その他 0
Q1 室内環境 遮音床材等を使用し室内騒音を極力抑える。 断熱を4等級とし住戸内の温熱環境を整える。	Q2 サービス性能 各戸LANIに対応しブロードバンド環境を整える。	Q3 室外環境(敷地内) 敷地内の空地を確保し極力緑地を設ける。
LR1 エネルギー 断熱を4等級とし住戸内の温熱環境を整える。	LR2 資源・マテリアル 非構造部材(仕上材)に再生木等の採用を検討する。	LR3 敷地外環境 中高木等の緑化に努める。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される